

# 議会だより

第30号

2021年8月



事務所出発



久万高原町  
イメージキャラクター  
ゆいぼう

デマンドタクシー（会員・予約制乗合バス）の「実証実験」始まる  
地域公共交通の交通弱者対策の一つの手段として期待されるデマンドタクシーの実証実験が、今年7月から面河・直瀬の一部地域住民を対象に始まりました。  
初日は、あらかじめ予約された直瀬地区の3名の方が、決められた時間、乗車場所にて乗車して町内のそれぞれの目的地まで向かいました。



乗車する予約客

## 主な内容

6月定例議会概要	2
本会議・常任委員会 議案審議概要	3
一般質問	7
新設特別委員会等	11
おしらせ・編集後記	12

# 令和3年6月定例議会

6月9日～6月18日

6月9日から6月18日までの10日間の会期で開催された。

第1日目に一般質問を行い、3議員がデジタル推進の概要、林業成長産業化地域構想事業の成果、新型コロナワクチン接種（計画）、デマンドタクシーの実証実験、子育て支援、コロナ対策での検査による防御策等を取り上げ、町政を質した。

第2日目に、補正予算の専決処分の承認1件、条例の制定4件、補正予算3件、町営土地改良事業の施行1件、令和2年度繰越明許費繰越計算書の報告5件等が提出され、うち8議案を所管の常任委員会に付託した。

第3日目に総務文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会を開き、付託された議案を審議、採決した。

最終日に、各常任委員会付託議案と共に、追加議案として専決処分の報告2件、動産の取得、工事請負契約の締結に加え、議会会議規則の一部改正、特別委員会の設置および委員の選任（議会改革・デジタル推進）の発議3件、第3セクターの経営状況報告が3件あり、全員一致でこれを可決し、閉会した。

## 令和3年度6月補正後予算

総額	155億9892万円	(8347万円増)
一般会計	96億948万円	(8489万円増)
特別会計	38億4757万円	(142万円減)
事業会計	21億4187万円	(増減なし)

### 主な歳入

国庫支出金	894万円(子育て世帯生活支援、学校保健特別対策)
県支出金	845万円(えひめ版応援金事業費補助金)
繰入金	4239万円(財政調整・農林業担い手育成確保対策等基金から繰入)
繰越金	2250万円(前年度繰越金)

### 主な歳出

ICT活用推進のため派遣元企業への負担金	560万円
久万農業公園敷地購入費	2700万円
林業経営支援事業補助金(森林環境譲与税事業活用)	650万円
えひめ版応援金事業費補助金(コロナ対策事業者支援)	1690万円
教育活動継続支援(コロナ対策)	小学校720万円・中学校160万円

本会議・常任委員会 議案審議概要

6月10日に議案審議（本会議）、6月11日に総務文教厚生常任委員会と産業建設常任委員会を開催しました。議案を慎重に審査し、全議案を全会一致で可決すべきものと決定しました。ここでは、審査の中から主な質疑を要約してお伝えします。

コロナ対策

小規模事業者の声をどう拾うか  
給付事業の要件を緩和する

**岡部** コロナ関連で経営的に苦しんでいる小規模事業者の声をどう拾うか。

**答** まちづくり営業課長

町の持続化給付金は、国の持続化給付金よりも受給要件を緩和している。給付額も4月から6月期は倍増することとした。その案内文書を全ての業者に配布する。

受動喫煙

対策事業の内容は国の制度を利用して実施

**玉井** 受動喫煙防止対策事業の予算100万円の内容は。

**答** まちづくり営業課長

国の制度を利用してしている。飲食スペース100平米未満の飲食店が対策を行う場合に国の補助はその費用の3分の2。残額（3分の1）の2分の1を町が支出。20万円を上限とする。

デジタル推進

基幹産業にどう生かすか  
LPWA通信<sup>※1</sup>を活用する

**岡部** デジタル推進を基幹産業にどう生かすか。

**答** まちづくり営業課長

林業ではパトライトシステム<sup>※2</sup>を本格運用し、農業では檻罟システムを試験運用している。

- ※1 LPWA通信：「Low Power Wide Area」の略。低消費電力で長距離通信ができる無線技術
- ※2 パトライトシステム：LPWA通信を利用した救助要請システム



檻罟システム



パトライトシステム



浄化槽事業

普及率はどのくらいか  
普及率は38・5%

**阪本** 増額補正の理由は。

**答** 環境整備課長

当初5人槽8基計上したが、新たな申し込みがあり、400万円程度の支出が見込まれたので補正計上した。

**答** 環境整備課長

普及率が38・5%であり、残りは61・5%だ。

**玉井** 浄化槽改修で今後該当する箇所数は。



浄化槽設置①



浄化槽設置②

し尿処理

移送計画の進捗は  
検討委員会で協議中

**岡部** 松山市への移送はどのように話が進んでいるか。

**答** 環境整備課長

検討委員会を立ち上げ、議会、業者、落合組で検討を進めている。

**河川水質**  
河川の水質検査を  
関係団体と検討する

**岡部** 最近、河川の生態系が崩れているのではないかとの声がある。数年に一度は調査した方がよいのでは。

**答** 環境整備課長  
町内の環境保全の一環として、河川の調査を面河川漁協、県立環境研究所、生物多様セン



河川水質検査

**農業公園**  
研修生就農時と同様のハウスに変更を  
建て替え時に検討する

**西山** 土地契約が25年経過したとのことだが、5、6年前も期限だと聞いた。5年延長したのか。

**答** 農業戦略課長  
今のハウスは十分持つが、今後の建て替え時に検討する。

**答** 農業戦略課長  
平成8年11月に契約したので、土地も建物も25年経過ということだ。

**西山** ハウス全体を建て替える場合、研修生が就農するときと同じパイプハウスにした方がよいと思うがどうか。



農業公園

**森林整備**  
森林の役割と林業の課題を大切に  
林業商社化の中で進める

**大原** 新たな森林管理システムの業務委託料の増額理由は。

**答** 林業戦略課長  
新たな森林管理システムを進めるために事務補助職員を活性化センターに雇用する。

**答** 林業戦略課長  
新たな森林管理システム

**光田** 企業の炭素排出を受け止め、保水機

能を果たしているのが山だ。町はどういう森林整備を目指しているのか。

**答** 林業戦略課長

**答** 林業戦略課長  
林業振興計画で考えているのはゾーニングだ。水源涵養林は目的に合う森林整備、林道周辺は木材生産を維持増進させるよう整備していく。

**光田** 炭素面と水の面へ中でも進めてほしい。

**答** 林業戦略課長

国が用意している森林経営管理制度を活用してくまなく整備する。

**岡部** 植林、育林のためには下刈りなど人員の確保が必要だ。商社でも考えているのか。

**答** 林業戦略課長

全国的にも育林の担

手不足があるので、県と連携を図りながら取り組む。

**岡部** この町での苗の調達を商社で実施すべきではないか。

**答** 林業戦略課長

県内で種苗の生産組合があり、そこに商社が切り込んでいけるかは、森林所有者、林家さんの意見も参考にしながら取り組みたい。



間伐の様子



皆伐後植林

**答** 農業戦略課長

49歳以下の新規就農者や農業公園研修生への補助はあるが、家族間承継の直接的な補助制度は今のところない。



**農業支援**  
農業の承継支援はあるか  
直接的補助制度はない

**大野** 家族が農業を承継するとき、行政からの支援はあるか。

**環境と森林** 譲与税で町の林業はどう変わるか  
 譲与税で町の林業はどう変わるか  
 担い手を育成し、森林保全を進める

**瀧野** 町にどれぐらい譲与税が来るのか。

はどのように変わるのか。

**答** 林業戦略課長

**答** 林業戦略課長

令和7年度から、約2億円の森林環境譲与税が町に交付される。

町の森林を保全するため、税源を使って整備を進め、林業の担い手を育成を継続的に行いたい。

**瀧野** 森林環境譲与税によって、町の林業

**人権尊重** 事業者への指導と相談体制は  
 研修を行うように指導する

**高橋誠** あらゆる差別をなくし基本的人権を尊重する条例改正により、事業者に何が求められることになるか。

**答** 教育委員会事務局長

人権問題について啓発等を進め、研修等もするよう指導していききたい。

**答** 教育委員会事務局長

事業者の努力義務と事業所での研修など規定することになる。

**高橋誠** 事業者への指導が重要となるが、相談体制はどうか。



人権学習会

**災害復旧** 災害復旧支援の基準は  
 すべてが復旧事業の対象にはならない

**大野** 大雨で田の畦が壊れ、下の田に土が入り込んだ事例がある。米価が下がる中、自前では補修できないという声がある。災害復旧事業の基準はどうか。

**答** 建設課長

国の補助事業になっていく採択要件は、被害額が40万円以上だ。職員が現地を調べるが、すべてが復旧の対象になるわけではない。

**不就学** 不就学の対応は  
 スクールローヤーと共に対応

**瀧野** 子供は教育を受けたいが、教育を受けられない事例がある。と聞くがどうか。

せるといった新たな考え方が出始めたのか。

**答** 小野教育長

不就学は町の教育の大きな問題である。現在、県教委と連携し、スクールローヤーという法律家を入れて対応を固めている。

**田村** 全国的に、子供を学校には行かせず、別の方法で勉強さ

せるといった新たな考え方が出始めたのか。と構えていく。

**宿泊観光** コロナの影響があるラグビー宿泊に対応を  
 事業者が疲弊しないように対応を図る

**瀧野** コロナで影響を受けているラグビー大会の宿泊などに、迅速な対応が必要ではないか。

り、その他の合宿などについても対応を考えて取り組んでいきたい。

**答** 総務課長

事業者が疲弊しないよう、対策本部で協議しながら迅速な対応を図っていきたい。



町ラグビー場

**介護保険料** 介護保険料増額の要因は  
 高齢者人口の減少によるもの

**瀧野** 第8期の介護保険基準世帯保険料が670円上昇した理由は。

**答** 保健福祉課長

今後の介護保険料と介護保険事業については

高齢者の人口減少により増額に至った。高齢者の減少により今後の増額も考えられるが、基金等で調整しながら料金を抑制し、介護保険事業を進めていきたい。

**地域活性化**  
**来年度以降の予定は**  
 3年間の募集をかけた

**森** 地域活性化企業人派遣事業の来年度以降の継続予定は。

**答** まちづくり営業課長  
 できれば3年間の募集をかけて参りたい。

**龍野** 林業商社化のICTについて、この事業で取り組むのか。費用面で協力することのできるコンサル

**答** 河野町長  
 林業商社化のアドバイザーとしても考えていきたい。協力者がいらっしやるなら、ぜひお知らせいただきたいし、外部からの視点は大事だと考えている。

**人事管理**  
**消防署の現状は**  
 ハラスメントの訓示をし、研修を実施

**龍野** 男性の多い消防署は人事管理が難しいと思うが、今の状況はどうか。

**答** 消防長

全職員にハラスメントなどの訓示を行い、外部講師を招き研修も

**自主財源**  
**再エネ誘致で税収アップを**  
 状況を見て進める

**森** 再生可能エネルギーの誘致を図り、償却資産税のアップを目指してはどうか。

**答** 佐藤副町長

償却資産は設置者・事業者の申告であるため、状況を見ながら進めていきたい。

**岡部** 職員駐車場維持管理協力金による200万円の歳入。財政を考えたときに、これ以外の方策はなかったのか。

**答** 総務課長

行政財産は町民の財産。その財産を使わせていただいているという気持ちを職員に持つてもらい、制度を設けて協力をお願いし、歳入に計上している。

**町立病院**  
**今後のリハビリ体制充実**  
 現状にあった体制を作る

**龍野** 医療上の制限により、リハビリでの入院中に退院を迫るところはあるか。

**答** 病院事業等統括事務局長

運動機能リハビリの標準的算定日数が疾患に

**龍野** 今後も多くの方がリハビリを必要とする。理学療法士、作業療法士共に充実すべきだと思うが、今後のリハビリ体制について町長の考えは。

**答** 河野町長

訪問看護も含めて、理学療法士、作業療法士のニーズが高まってお



**ICT教育**  
**オンライン授業の計画は**  
 今後取り組まなければならないと思う

**田村** タブレットは、各学校に配置できた

**答** 教育委員会事務局長

5月に166台を購入した。現在、初期設定等を行い、各学校へ配布しており、6月中旬に全校に配布予定である。

**田村** 社会性を育てる面から、学校間で連携を取ってオンライン授業を行う計画はあるか。

**答** 教育委員会事務局長

8月末に学校内のネットワーク整備が完了予定で、学校間の連携した教育にも今後は取り組んでいかなければならないと思う。

# 一般質問



## 一般質問とは

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や見解を町長などに求め、適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問要旨を知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。

一般質問は、住民からも大きな関心と期待を持たれる重要な議員活動の場であることから、本会議の初日に行われ、年4回開かれる定例議会（3月・6月・9月・12月）でのみ行われます。

規則により、議員は町に対し一方的に質問することができませんが、逆に町が議員に質問することは認められていません。

## — 3人の議員が町政を質す —

6月定例会では3人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。要約は質問者自身が議事録を基に行い、会報特別委員会が校正したものです。

全文の議事録は町議会ホームページ（<https://www.kumakogen.jp/site/gikai/>）の「議会 議事録」からご覧いただけます。

久万高原町議会での一般質問の質問順序は、原則として質問通告書の提出順になります。

### 岡部 史夫 議員

- デジタル化推進の概要について
- 林業成長産業化地域構想事業の成果について

### 森 博 議員

- 新型コロナワクチン接種（計画）について
- デマンドタクシーの実証実験について

### 大野 良子 議員

- 子育て支援について
- コロナ対策での検査による防御策について

※通告順（発言順）に掲載しています。



岡部史夫議員

①町のデジタル化推進後のシミュレーションは  
②林業成長産業化地域構想事業の目標達成状況について

町のデジタル化推進後のシミュレーションは

**答** 河野町長

県市町でDXの取り組みを一体的に推進して行き、オープンデータの公開を図っていく。

**問** オープンデータ化への課題や役場内の取り組みは。

**答** 河野町長

データの活用は個人情報保護法等を踏まえて進める。

**答** 佐藤副町長

役場内にワーキンググループを設置し取り組んでおり、成果は報告する。

**問** オープンデータを活用した官民連携に取り組むとすれば、どのような分野からか。

**答** 河野町長

民間の力を活用する準備をしている。

**問** デジタル化推進においては特定のテーマを決め、グループ単位でのアイデアソンが必要ではないか。

**答** 佐藤副町長

役場内システムも業務効率化に変化していくタイミングでもある。

**問** 地域経済や住民の生きがいにつながる幅広いデジタル化推進を期待する。

**答** 河野町長

今までよりも良くなるという前提で取り組む。

林業成長産業化地域構想事業の目標達成状況について

**答** 河野町長

自伐林家の経営意欲向上を図るため、努力してきた。今後、林業商社設立により、行政・森林組合・商社が連携し、林業事業者・自伐林家の協力を得て、担い手確保育成、林業関係者の所得向上に貢献していきたい。

**問** 担い手育成を怠ったから生産量が伸びず全てに影響している。この4年間、積極的に担い手対策を実施してきたのか。

**答** 河野町長

担い手が増えないことに危機感を感じており、林業従事者確保に努めていく。

**問** 当初予算時説明の金融機関の400万円の出資ファンドも立ち消えになった。財務体制が維持できない三セクタイプの赤字体質の商社になることを木材関係者も危惧している。

**答** 河野町長

「三セク」の手法は間違っていない。

**問** 運営委員会でも町内の製材2業者が現状内容では商社が何をするのかが見えず、商社設立は不安だと述べていた。木材関係者の協力・確認が無くても設立を進めるのか。

**答** 河野町長

今、これで成果が出ますとしてスタートができる所はない。資金繰りについてももしっかり説明していく。

**問** 明確な収入が無いのにどのように商社を運営するのか。

**答** 河野町長

流域活性化センターの仕事を受けて活動費・給料に充てるが、早く自立したい。

**問** 商社設立の意義として、コストに見合うベネフィットを確保し、小規模森林所有者の課題解決の検討をすべきである。議会としても安易に同意すれば無責任な議会対応となり、責任を免れることはできない。町内木材関係業者との連携協力が得られた上で設立すべきであり、責任の所在と透明性のある対応をしていただきたい。



①新型コロナワクチン接種の現状と今後の計画は  
②デマンド(乗合型)タクシー実証実験の進め方は



森 博議員

**【答弁】 ①高齢者の49.5%が最低1回接種。高齢者以外には6月下旬頃から接種券を発送予定 ②会員・予約制デマンドタクシー事業を民間事業者が実施し、町が必要な補助を行う**

新型コロナワクチン接種の現状と今後の計画は

**問** ①本町での直近の接種状況、予約状況

②予約できていない方、接種を受けられない方への対応  
③キャンセル待ちで余ったワクチンの使用計画  
④64歳以下の接種開始について問う。

**答** 河野町長

6月8日正午現在で、高齢者の1回目の接種済みが1913人(49.5%)、2回目が259人。予約済みは3572人(92.4%)。予約ができていない方、受けない方への対応は、各医療施設で受診時に接種の有無の確認や、包括支援センター職員・介護事業所のケアマネージャー・ヘルパー等が訪問時に呼びかけ、確認を行っている。

キャンセルで余ったワクチンは、別の日の予約者に連絡し調整接種。集



個別接種予約受付



かかりつけ医によるワクチン接種

団接種に従事する保健センター等の職員、障がい者施設等の従事者・利用者、デイサービス等の従事者へも接種をする計画。

高齢者以外には6月下旬頃から接種券を順次発送予定。接種時期は配送時期にもよるが、7月末頃から個別接種、8月頃から集団接種を開始できると考える。

**問** 企業等を対象にモデルタクシーでの集団接種も始まったが、本町は従来どおりの接種方法のみか。

また、今までの接種の中でアレルギー反応等により体調を崩された方はいないか。

**答** 保健福祉課長

今のところファイザー社の

みで今現在の方法で対応する予定。アレルギー(アナフィラキシーショック)等の発症情報・連絡は今のところ入っていない。

デマンド(乗合型)タクシー実証実験の進め方は

**問** 町は交通弱者対策として、面河・直瀬地区を対象にデマンドタクシーの実証実験を行うが、運行方法、実施時期、対象住民への周知状況等を問う。

また、この事業を通して何をどう検証し、今後の地域交通対策をどのように進めていくのか答弁を求める。

**答** 河野町長

面河・直瀬の一部地域において(事業者が)設定した4路線、日時により、予約に応じ利用者を途中乗せながら、JR久万高原駅までの間を運行するもの。

利用者は会費として月2000円、運賃として往復1000円を支払い、期日までに予約を行えば利用でき

る仕組み。

実証実験期間は7月末から年度末まで。周知は事業者が地域の自治会等に案内を送り、町も自治会文書や地域運営協議会での案内に努めている。

実証実験を通し、利用者の声や利用実績、他のバス・タクシー会社への影響などを精査し、乗合型デマンドタクシーが本町にふさわしく、全町へ普及できるかを判断していく。

**問** この事業に対する国・県の補助事業はあるのか。

**答** 総務課長

今は、国の補助等はないのが現状である。



予約客乗降所へ到着



大野良子議員

①子育て支援について

②コロナ対策での検査による防御策について

【答弁】①財源の確保、他の市町の動向も踏まえながら総合的に進めていく

②今はワクチン接種を最優先。万が一の時はキットも導入

対象人数は180名、一人あ

**答** 河野町長

対象人数は180名、一人あたり2万6800円なので、482万4000円になる。

子育て支援について

**問** 高校卒業までの医療費の無料化は鬼北町で実施され、今秋には伊方町、新居浜市、内子町で実施の予定。久万高原町でも保護者からは「ぜひ無料化に」と熱い要望が寄せられている。高校卒業までの医療費を無料化した場合の対象人数の見込みと経費概算を問う。

**答** 河野町長

対象人数は180名で、必要経費は250万円から400万円だ。

**問** 国民健康保険料(国保)の均等割は収入のない子供にも生まれたばかりの赤ちゃんにも同居の人数分加算される。この国保の均等割負担から高校3年生以下までを除外する場合、対象となる人数と経費概算を問う。

**問** ワクチン接種はコロナ感染を防ぐ大きな切り札である。5月末時点で、町内医療機関へのワクチン

コロナ対策での検査による防御策について

高校卒業までの医療費無料の他市町の実施状況は聞いている。国保の負担軽減策に取り組んでいる自治体は少ない。令和4年に国の取り組みとして未就学児の均等割の5割が減額されると聞いている。今後、財源の確保や、他市町の動向も踏まえながら総合的に検討を進めていきたい。

**答** 河野町長

高校卒業までの医療費無料免除は住民の子育て応援の重要な施策であると同時に、若い世代の転入を促す面でも重要だ。町長の見解を問う。

**問** 高校卒業までの医療費無料化と国保の均等割

配布が遅いとこの現場の声を聞くが、町として配布状況をどう見ているか。

**答** 河野町長

国、県を経由して分配量が決まり、医療機関の希望を考慮しながら配布している。迅速な対応に努める。

**問** ワクチンが広い世代に行き渡る時期をいつ頃と見ているか。

**答** 河野町長

ワクチンが定期的に配分されれば接種が加速される。断言はできないが要望を続ける。

**問** ワクチンの効果が現れるのには時間がかかる。ワクチンの効果を弱める変異ウイルスも出ている。県の警戒レベルや近隣市町の感染状況を「目安」として、町が機敏にクラスターの発生しやすい施設や、無症状者を含めたPCR検査を行い、町民を守るべきだと考

えるが、町長の見解を問う。

**答** 河野町長

4月補正で高齢者施設の入所者、出張等で感染拡大地域を往来した職員のPCR検査の経費を計上。5月補正で対象を拡大し、現在99名が検査を受けている。それ以外の拡大は県内の感染状況を見ながら適切に対応する。

**問** 発熱者、感染者周辺だけでなく、感染が拡がりそうな施設や観光地では他地域の方と接するお店や職種に広げて検査をするべき。唾液検査や当人が判断できる検査キットや抗原検査を活用し、積極的防御の「目安」を明確にすべきだ。見解を問う。

**答** 河野町長

不安をおおるのは避けたい。万が一の時は唾液検査、キットを導入する。今はワクチン接種を進めたい。

新設特別委員会

●議会改革特別委員会

委員長 玉井春鬼  
副委員長 大野良子  
委員 光田優  
同 熊代祐己  
同 大原貴明  
同 西山清一

●デジタル推進特別委員会

委員長 高橋誠  
副委員長 森博  
委員 阪本雅彦  
同 瀧野志  
同 田村昭子  
同 岡部史夫

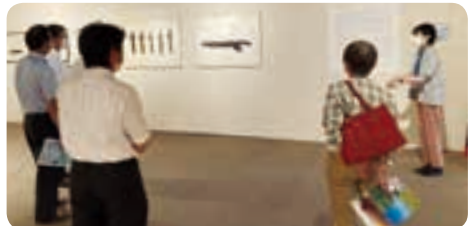


令和3年度新議員研修会日程

7月9日(金)		
時間	担当課	会議室・視察場所等
8:30 ~ 9:00	庁舎案内	
9:00 ~ 10:00	総務課(財政管財班含む)	議会会議室
10:00 ~ 10:30	出納室	議会会議室
10:40 ~ 11:20	保健福祉課	議会会議室
11:20 ~ 12:00	住民課	議会会議室
13:00 ~ 13:30	(ふるさと創生課)	道の駅さんさん
13:40 ~ 14:10	(教育委員会)	B & G海洋センター
14:20 ~ 15:00	(農業戦略課)	農業公園
15:10 ~ 15:40	(ふるさと創生課)	天体観測館
15:50 ~ 16:20	(ふるさと創生課)	美術館
7月16日(金)		
時間	担当課	会議室・視察場所等
8:40 ~ 9:10	(教育委員会)	ラグビー場
9:20 ~ 9:50	(教育委員会)	上高星天寮
10:00 ~ 10:30	(環境整備課)	環境衛生センター
10:50 ~ 11:20	(総務課)	美川支所
11:30 ~ 12:00	(ふるさと創生課)	道の駅みかわ
13:00 ~ 13:30	(総務課)	面河支所
13:40 ~ 14:10	(ふるさと創生課)	山岳博物館
14:50 ~ 15:20	(総務課)	柳谷支所
15:40 ~ 16:00	(教育委員会)	さんさんドーム
7月21日(水)		
時間	担当課	会議室・視察場所等
8:40 ~ 9:20	教育委員会	議会会議室
9:20 ~ 10:00	環境整備課	議会会議室
10:10 ~ 10:50	病院・あけぼの	あけぼの会議室
11:00 ~ 12:00	消防本部	消防本部(施設案内含む)
7月27日(火)		
時間	担当課	会議室・視察場所等
13:00 ~ 13:40	建設課	議会会議室
13:40 ~ 14:20	まちづくり営業課	議会会議室
14:30 ~ 15:10	ふるさと創生課	議会会議室
15:10 ~ 15:50	農業委員会農業戦略課	議会会議室
16:00 ~ 16:40	林業戦略課	議会会議室

議員歴1年未満の議員を対象とした研修会が4日間の日程で開催されました。参加議員は、町の各部署に担当業務内容の説明を受け、関係施設の現地視察も行うなど、町行政の現状や課題などについて学ぶことができました。今後の議員活動・町への提言に活かしていきたいところです。

令和3年度新議員研修会



美術館



天体観測館



アグリピア

## 閉会中の主な議会活動

●3月議会後から6月議会前までの  
主な活動です。

4月	町議会議員投票日
18日	任期満了
23日	初議会前全員協議会①
26日	初議会前全員協議会②
30日	臨時議会
5月	議会会報特別委員会
6日	議会会報特別委員会
11日	合同専門委員会
19日	議会会報特別委員会
21日	議会運営委員会
26日	全員協議会
6月	議会運営委員会
2日	議会会報特別委員会



## まちの未来が見える・聞ける

### 議会を傍聴しませんか！

- ※一般質問・本会議 (町民館2F 議場)
- ※常任委員会 (町民館)

・本会議も常任委員会も傍聴できます。

6月定例会の傍聴者は22人でした。  
(町職員・記者を除く)

## 《9月定例議会の予定》

7日	開会 一般質問
8日	議案審議(質疑)
9日	総務文教厚生 常任委員会(審査)
10日	産業建設 常任委員会(審査)
17日	本会議 閉会

## お知らせ

議会「一般質問」が回数  
制限から持ち時間制にな  
ります。

本年9月議会から、各議員の  
一般質問での回数制限がなく  
なり、一人持ち時間30分以内の  
時間制限へと移行します。



傍聴、お待ちしております！

## 編集後記

東京五輪も開幕し日本選手の  
連日の活躍で盛り上がる中、下火  
になっていた新型コロナウイルス  
感染も変異株が猛威を振るい、首  
都圏を中心に感染が拡大していま  
す。

本町では、高齢者等を中心にワ  
クチン接種が進み接種率は県下2  
番目ですが、さらに接種を進め感  
染防止対策に万全を期してもらい  
たいところです。

長い梅雨は明けましたが、異常  
気象による猛暑、豪雨が繰り返さ  
れる事も心配されます。CO<sub>2</sub>に  
よる地球温暖化防止のため世界各  
国が一体となった取り組みも始ま  
りました。

木材の乱伐も抑制され始め、我  
が国の外材輸入量も減少、逆に国  
産材の輸出、国内消費が伸び、杉・  
檜の材価が近年になく上昇、久万  
林業活性化への追い風となってい  
ます。

大変な時期ではありますが、久  
万高原町の明るい未来を信じて、  
町、議会、町民が一体となったま  
ちづくりを進めましょう。皆様の  
忌憚のないお声をお聞かせくださ  
い。

(森 博)